

一般社団法人SAVE TAKATA

JCN 現地会議 in 岩手  
説明資料

2016.2.4 版



佐々木 信秋  
岩手県陸前高田市出身  
1982年生まれ（33歳）  
一般社団法人SAVE TAKATA 代表理事

地元高校を卒業後、専門学校でプログラミングを学ぶ。  
その後イベント会社を起業し、大型野外フェスの下請け  
の仕事をしていたが、どうしてもWebの仕事がやりたく  
なり、辞任。

2011年3月、念願のWeb会社を起業し「さぁやるぞ！」  
とっていたところに東日本大震災により故郷が壊滅、  
ボランティア活動をきっかけにNPOを設立、現在に至る。

2011年



東日本大震災 発災  
故郷が津波で壊滅  
家族の安否確認を始める

2011~14年



緊急支援として物資支援、  
避難所支援、情報発信等  
できることはすべて実施  
※成果は後述補足

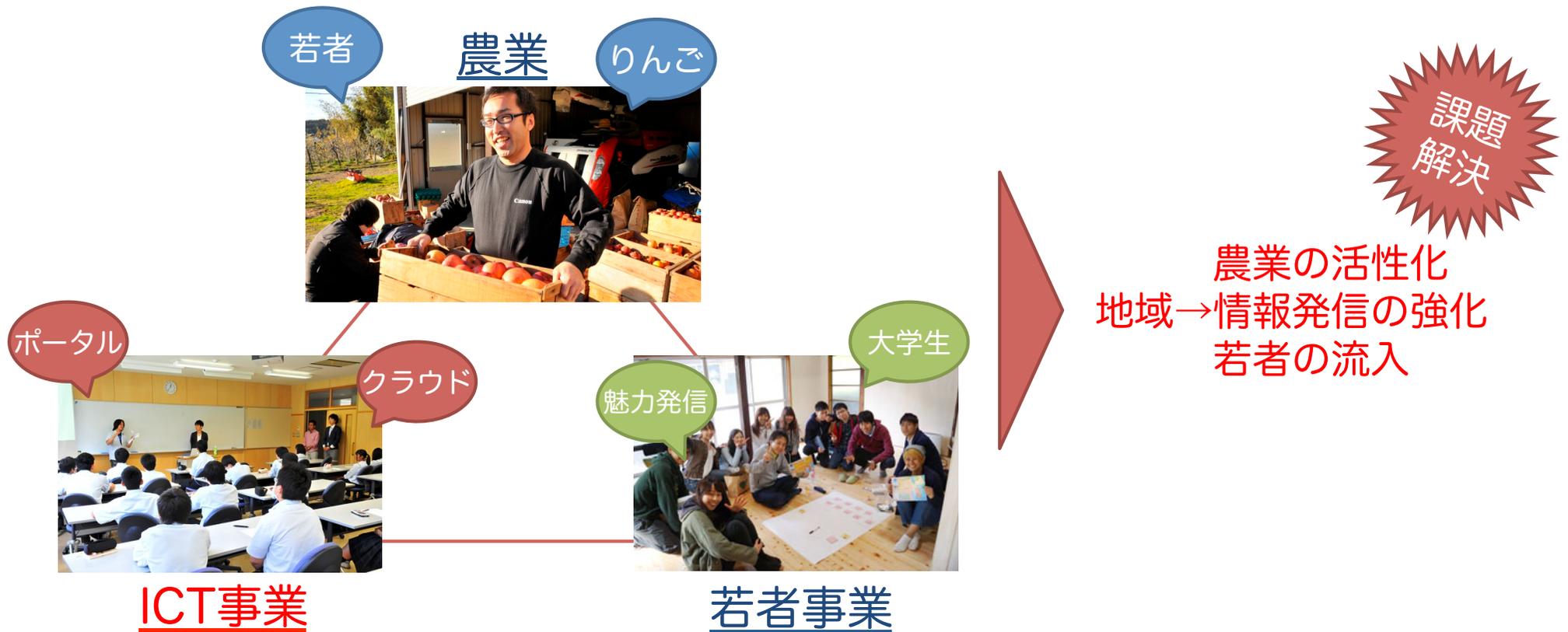
2015年~



復興支援ではなく、復興の  
その先を見据えたソーシャル  
ビジネスを推進及び準備中

事業 (現在)

SAVE TAKATAは、挑戦の地「陸前高田」で、日本の未来を創る地域づくりを目指します。



陸前高田市の貴重な産業でもある「米崎りんご」の生産基盤の強化、担い手の育成、販売PRを行い、「守り・残し・繋ぐ」事で米崎りんごの発展、若者の再生を目指す。



「りんご」と「ひと」を育てる「新しい形の農業」を推進

※年間100~150名程度の若年無業者を受入している。



りんご栽培



若年無業者自立支援



就農者・移住定住者の創出

若者が

～やさかじ、～  
幸生する街、

陸前高田。

そこには何気なく寄り添える「空間」があります。  
上手に人と接しようとしなくても大丈夫。  
いつの間にか人とリナガルことができます。

そこには遮るものがない「空間」が広がっています。  
悩み過ぎなくても大丈夫。  
土や緑を感じながら自分のリズムで心を整えられます。

そこにはあなたの力を必要としている「空間」が待っています。  
りんごは正直に育つので、あなたもありのままで大丈夫。  
就農体験は3つのタイリヨク(対力・耐力・体力)を  
もたらしてくれます。

あの日から少しずつ歩みを進めている陸前高田。  
多くの人がゆっくり時間をかけて物事に取組んでいます。

一般社団法人SAVE TAKATAは  
明治時代から続く陸前高田の米崎りんごを育てながら、  
つまずいた若者たちを受入れ、  
自立へのお手伝いをしています。

ぜひ置いて、  
まんまおいで!



“たかたびと”を増やす

※たかたびと=陸前高田に関する・移る・定る人

地域情報発信事業

サイト

アプリ

冊子



<事業役割・キーワード>

- ・地域情報発信事業→看板・名刺・周知
- ・Web事業→資金・雇用・産業
- ・ICTママ事業→地域・人材・先駆性

<地域効果・キーワード>

- ・知己情報発信事業→魅力の発信
- ・Web事業→雇用や産業の創出
- ・ICTママ事業→子育て環境やコミュニティ形成

アクセシビリティ

HTML



Web事業

女性



ICTママ事業

クラウド



SHIRASAGI



地域間連携

世田谷・徳島・鹿角  
仕事やコミュニティをシェアする

拠点づくり  
古民家の改修

変わり続ける家

会いたい"ひと"に  
あいに行こう

魅力発信  
観光冊子の作成



**「若者の交流人口の増加」を目的とした大学生の活動をサポート**  
※述べ600人以上の学生が参加し、拠点づくり、情報発信を実施

## 事業（今後）

SAVE TAKATAは、挑戦の地「陸前高田」で、日本の未来を創る地域づくりを目指します。

### 農業



2017年4月にNPOを設立し事業譲渡  
事務局長が就農及び代表理事に就任  
私は理事として予算調達とICT化を担当

2017年4月に社名変更  
SAVE TAKATAはICT事業に注力する  
私は代表理事としてより注力する



### ICT事業

2016年4月にNPOを設立し事業譲渡  
大学生と一緒に市民活動として続ける



### 若者事業

“たかたびと”を増やす

※たかたびと=陸前高田に関る・移る・定る人



地域情報発信事業



肌感覚では需要はありそうだけど・・・  
実際どうなの??



Web事業



ICTママ事業

## ICT事業についてコラボレーション



地域情報発信事業



Web事業

教育  
仕事  
仲間



ICTママ事業

地域として意見が欲しい！  
アイデアを教えて欲しい！！  
コラボの可能性も教えて欲しい！！！！  
※ICT全般としてもOK

コラボイメージ：  
女性やママ支援の団体と連携して女性のキャリアアップ  
自社のホームページを地域のママに制作してもらい地域貢献  
などなど・・・

## 一般社団法人SAVE TAKATA

- 設立 : 2011年3月12日 (法人化 同年6月13日)
- 役員 : 理事3名 (内非常勤1名)
- 職員 : 8名 (ボランティア40名)
- 規模 : 約4,400万円程度
- 拠点 : 陸前高田市 (本店)  
東京 (支店)
  
- 特徴 : 自社収益と助成補助等の公的資金の割合が50%ずつ  
職員が出身者やI/Uターンなどさまざま  
分社をしてブランディングと相乗効果を創出する  
拠点が陸前高田市と東京である

## 補足： 震災関連の支援（緊急支援 2011年3～9月頃）



### <情報発信>

Googleの無料ホームページ制作サービスを活用し、陸前高田の情報発信サイトを2011年3月12日にリリース、東京から陸前高田までの経路情報（高速道路や高田近辺の道路状況など）や陸前高田の状況をなるべくリアルタイムで配信をさせていただきました。1週間で**合計350,000名**のユーザーを記録、**200人以上**のお問い合わせに対応をいたしました。その後SAVE TAKATA公式ホームページを3月20日にリリース、順次移管、翻訳ボランティアのみなさまのご協力を元に、**7カ国語で発信**いたしました（日本語、英語、イタリア語、フランス語、ロシア語、中国語）。

当時のサイト：<https://sites.google.com/site/savetakata/home>

### <物資支援>

生活用品や事務用品などを中心に首都圏から陸前高田市に輸送、支援を行わせていただきました。総量として**一般車両6台分、2t車両6台分、4t車両1台分の物資を支援**させていただきました。方法といたしまして物資を持っている方、車両を持っている方、運転出来る方をそれぞれマッチングさせていただき、実現をいたしました。

### <ボランティア活動>

陸前高田市第一中学校、住田町災害ボランティアセンターなどの避難所、ボランティア宿泊施設の運営補助を実施させていただきました。避難所では物資管理、宿泊施設では運営スタッフとして参加をさせていただきました。また、避難所の物資管理についてはボランティアバスを運航、**述べ90人、棚卸し点数15万点、そのデータを避難所に提出**させていただきました。

### <その他>

陸前高田市災害対策本部のホームページ制作支援、首都圏での陸前高田支援フォーラム開催、自分で作る結婚指輪、陸前高田市復興まちづくりイベント、各種慰問イベントや炊き出しなどへの運営参加、コーディネートを数多く実施させていただきました。

補足 : 震災関連の支援（復旧期①） 2011年10月～2015年5月頃



<陸前高田物産展の実施>

首都圏を中心とした陸前高田物産展を各種イベント、商店街のお祭りなどで実施、被災事業者の販売支援を実施するとともに、被災地に赴かなくても応援出来る仕組づくりを進めさせていただきました。成果として**販売実績2,500万円以上、実施数100件以上、ボランティア参加者数1,000名以上**、また、お店に物産品を卸すこともさせていただきました。

<米崎りんごの商品開発>

米崎地区で栽培されている、米崎りんごを商品開発することにより「農家の収入向上」と「就農者の創出」を目指した事業を2013年7月より開始、2014年3月にジュース及びジャムを開発、販売を行わせていただき、これまで**ジャムを約3,000個、ジュース約2,500個**を販売しました。また、インターネットで購入可能なECサイトを構築、リリースしております。さらに移住定住者および就農者創出として若年無業者自立支援としての就農体験プログラムに注力しており、**述べ154名の若年無業者の受入を実施**しております。

米崎りんごア・ラ・カルト : <http://yonesakiapple.com/>

<陸前高田市の情報地図制作及び発行>

2012年4月より神奈川金太郎ハウス様から引き継がせていただいた「新店舗MAP」を陸前高田復幸マップとしてリニューアル、作成、配布をさせていただきます。復興したお店の場所や電話番号などの、情報周知をさせていただきます。「陸前高田市の今を可視化する」ことを目的とし、**7回発行、58,000部制作及び配布**を市内主要個所、仮設住宅、郵便局（東北）、各支援店舗に対し行わせていただきました。現在ウェブ/スマートフォンアプリケーション版もリリースをさせていただきました（**アプリは2014年いわてアプリコンテストで大賞を受賞**いたしました）。

陸前高田復幸マップ : <http://fukkomap.net/>

## 補足 : 震災関連の支援（復旧期②） 2011年10月～2015年5月頃）



### <ITを活用した地域支援>

「ITリテラシーの向上」「地域外からの資源流入」を目的とし、ITによる地域支援を実施させていただきました。成果物としてホームページ制作が地元事業者やNPO、また、市外からの受注案件、自社サービス含めると**20件制作**させていただきました。陸前高田就労支援事業の一環として、就労希望者向けにワードやエクセルなどのオフィス製品講習を**5回実施**、**合計で約100名の方に受講**いただき、また、市民や事業者向けにTwitterやFacebook講習も実施、**50名以上の方にご参加**いただきました。さらに、在宅ワークの説明会を**3回開催**し、**約60名の方にご参加**いただき、実際の在宅ワーク就労者を創出することが出来ました。

### <ITを軸とした高校生教育>

大船渡市内の高校生向けに東北Webプロフェッショナル様主催で「IT出前授業」を実施、地域の高校生に向け、Webという新しい働き方の提案をさせていただきました。これまで大船渡東高校での授業を4日間、課外授業として長期の教室を**高校生4名に対して実施**、2014年12月に成果報告会を実施させていただきました、合計述べ**約80名の生徒に授業を実施**させていただきました。

### <若者がつくる若者拠点事業の推進>

震災以前から続く若者流出を解決するため「若者流入」をミッションに掲げ「若者がつくる、若者拠点」として若輿人の家事業を、2013年1月より開始させていただきました。本事業は陸前高田市にある築50年以上が経過した平屋住居を、若者自らが設計、施行までを実施、また、地域の文化や歴史、口伝を残す保存事業を推進させていただいております。**若者（主に大学生）の述べ参加人数は602名以上**になっております。

若輿人の家 : <http://wakodohouse.org/>

補足： 震災関連の支援（復旧期③） 2011年10月～2015年5月頃）



<町田市内商店街との交流事業>

2012年2～3月の期間において「商店街にぎわい創出事業」と称し、町田市内の商店街と陸前高田市内の商店街を繋ぐ、交流事業を実施させていただきました。町田市内での陸前高田物産展を6日間開催、また、0泊2日のバスツアーを町田より2回運行し、町田パークアベニュー商店会と高田大隅つどいの丘商店街が交流を深め、互いに「交流商店街」となり、継続して交流を持っていただいております。この事業がご縁となり、商店会からの寄附や町田市内で物産展開催、物産品の仕入など継続的にご支援をいただいております。

商店街にぎわい創出事業：<http://machida-takata.com/>

<その他>

その他事業として主にコーディネート及びマッチング業務を市民や企業、NPOの市内視察、事業実施、イベントサポート、国内外からの寄附及び支援物資のマッチングなど合計150件以上実施をさせていただきました。また、岩手県委託事業として東京交流会を2012～2014年度と3年連続で実施をさせていただき、150名規模の交流会や、2015年2月には県内NPO11団体と首都圏企業23社の商談会を実施させていただきました。

<登壇及びメディア掲載>

震災直後よりセミナーやパネルディスカッションに登壇、各メディア、新聞、ラジオ、テレビ、雑誌などに掲載いただき、陸前高田の周知、情報発信に努めさせていただきました。登壇回数は60件以上、掲載実績としては125件（新聞80、テレビ10、ラジオ5、雑誌及びインターネットメディア30：掲載数は暫定になり、これ以上かと思われます）となりました。